



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所 東
コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長 CEO（氏名） 木村 弘毅
問合せ先責任者（役職名） 上級執行役員 CFO（氏名） 島村 恒平（TEL）03-6897-9500
半期報告書提出予定日 2025年1月14日 配当支払開始日 2024年12月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け電話会議）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	68,820	7.6	11,110	86.9	8,748	129.5	9,016	139.7	5,227	132.3
2024年3月期中間期	63,968	△2.7	5,943	△55.9	3,811	△66.1	3,760	△64.3	2,250	14.8

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

（注）包括利益 2025年3月期中間期 7,885百万円（204.4%） 2024年3月期中間期 2,590百万円（△15.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	74.94	74.06
2024年3月期中間期	31.37	31.00

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	213,259	175,500	81.1
2024年3月期	207,342	175,730	83.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 172,948百万円 2024年3月期 173,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2025年3月期	—	55.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	0.1	23,000	△2.1	18,500	△3.5	17,500	11.7	12,000	69.4	170.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) Tech Growth Capital有
 限責任事業組合
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	73,730,850株	2024年3月期	73,730,850株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	4,946,379株	2024年3月期	3,420,835株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	69,756,331株	2024年3月期中間期	71,754,173株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2025年1月14日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(中間連結損益計算書関係)	12
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(セグメント情報等)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	63,968	68,820	7.6%
EBITDA(百万円)	5,943	11,110	86.9%
営業利益(百万円)	3,811	8,748	129.5%
経常利益(百万円)	3,760	9,016	139.7%
親会社株主に帰属する中間 純利益(百万円)	2,250	5,227	132.3%

当中間連結会計期間の売上高は68,820百万円(前中間連結会計期間比7.6%増)となりました。また、EBITDAは11,110百万円(前中間連結会計期間比86.9%増)、営業利益は8,748百万円(前中間連結会計期間比129.5%増)、経常利益は9,016百万円(前中間連結会計期間比139.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5,227百万円(前中間連結会計期間比132.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	43,051	40,139	△6.8%
セグメント利益(百万円)	13,440	16,175	20.3%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当中間連結会計期間におきましては、「モンスターストライク」は、ARPUは前年並みであったものの、前年に10周年施策の実施があったため相対的にMAUが減少し、前中間連結会計期間と比較して売上高が減少しております。なお、前年は10周年施策コストの計上があったことや、事業撤退によるコスト削減により、セグメント利益は増加しております。

この結果、当事業の売上高は40,139百万円(前中間連結会計期間比6.8%減)、セグメント利益は16,175百万円(前中間連結会計期間比20.3%増)となりました。

② スポーツ事業

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	15,050	18,236	21.2%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	△876	718	-%

スポーツ事業では、バッティング事業、観戦事業への投資を行っております。バッティング事業におきましては、スポーツバッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトでオンライン車券販売高が増加し、前中間連結会計期間と比較して、売上を順調に拡大しております。観戦事業におきましては、FC東京の物販が好調であったことや、前年に当社の一部サービス終了による一時的な費用計上があったことにより、セグメント利益が増加しております。なお、千葉ジェッツがホームアリーナとして利用する「LaLa arena TOKYO-BAY」が4月に竣工し、5月にお披露目イベントを実施しました。

この結果、当事業の売上高は18,236百万円(前中間連結会計期間比21.2%増)、セグメント利益は718百万円(前中間連結会計期間はセグメント損失876百万円)となりました。

③ ライフスタイル事業

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	4,550	5,455	19.9%
セグメント損失(△)(百万円)	△682	△513	－%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」におきましては、注力商材(みてねプレミアム、写真プリント、みてねみまもりGPS)が好調であったことから売上を順調に拡大しております。一方、海外ユーザー獲得のためのプロモーション及び体制強化への投資を積極的に行っております。

この結果、当事業の売上高は5,455百万円(前中間連結会計期間比19.9%増)、セグメント損失は513百万円(前中間連結会計期間はセグメント損失682百万円)となりました。

④ 投資事業

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 増減率
売上高(百万円)	1,145	4,953	332.3%
セグメント利益(百万円)	698	2,407	244.6%

投資事業では、当社及び当社の連結子会社において、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当中間連結会計期間においては、タイミー株式の一部売却や、出資するファンドの損益取込みを行いました。

この結果、当事業の売上高は4,953百万円(前中間連結会計期間比332.3%増)、セグメント利益は2,407百万円(前中間連結会計期間比244.6%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態

当中間連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が158,093百万円(前連結会計年度末比3,856百万円増加)となり、主な要因としては、営業投資有価証券の増加があげられます。固定資産は55,166百万円(前連結会計年度末比2,060百万円増加)となり、主な要因としては、長期貸付金の増加があげられます。

負債については、流動負債が24,574百万円(前連結会計年度末比1,581百万円増加)となり、主な要因としては、未払法人税等の増加などがあげられます。固定負債は13,185百万円(前連結会計年度末比4,565百万円増加)となり、主な要因としては、長期借入金の増加があげられます。純資産は175,500百万円(前連結会計年度末比230百万円減少)となり、主な要因としては、自己株式の取得による減少、その他有価証券評価差額金や利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比べて1,558百万円減少し、104,130百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により獲得した資金は8,541百万円(前中間連結会計期間は504百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益9,264百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は6,947百万円(前中間連結会計期間は3,663百万円の使用)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出4,010百万円及び貸付けによる支出4,000百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により使用した資金は3,058百万円(前中間連結会計期間は11,429百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出4,538百万円、配当金の支払3,867百万円及び長期借入れによる収入4,700百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日の開示時点から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,910	103,486
受取手形及び売掛金	13,227	13,730
営業投資有価証券	23,620	27,303
有価証券	—	863
商品	566	559
その他	11,152	12,398
貸倒引当金	△241	△248
流動資産合計	154,236	158,093
固定資産		
有形固定資産合計	17,532	18,596
無形固定資産		
のれん	8,467	8,267
顧客関連資産	4,960	4,621
商標権	2,198	2,060
その他	1,335	1,425
無形固定資産合計	16,961	16,375
投資その他の資産		
投資有価証券	7,391	6,158
長期貸付金	2,745	7,535
繰延税金資産	4,452	2,654
その他	5,090	5,729
貸倒引当金	△1,067	△1,883
投資その他の資産合計	18,611	20,193
固定資産合計	53,105	55,166
資産合計	207,342	213,259
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,090	2,066
未払金	12,101	9,290
未払法人税等	958	3,516
未払消費税等	576	547
賞与引当金	1,830	1,220
その他	6,436	7,933
流動負債合計	22,992	24,574
固定負債		
長期借入金	6,341	10,850
繰延税金負債	2,121	1,966
その他	156	368
固定負債合計	8,619	13,185
負債合計	31,611	37,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,662	9,669
利益剰余金	163,190	164,546
自己株式	△10,310	△14,574

株主資本合計	172,240	169,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	2,890
為替換算調整勘定	803	717
その他の包括利益累計額合計	1,170	3,608
新株予約権	1,109	1,098
非支配株主持分	1,209	1,454
純資産合計	175,730	175,500
負債純資産合計	207,342	213,259

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	63,968	68,820
売上原価	20,690	23,253
売上総利益	43,277	45,567
販売費及び一般管理費	※1 39,466	※1 36,818
営業利益	3,811	8,748
営業外収益		
受取利息	12	28
受取配当金	—	7
持分法による投資利益	—	132
為替差益	391	—
事業譲渡益	—	181
その他	154	162
営業外収益合計	558	512
営業外費用		
支払利息	28	47
持分法による投資損失	476	—
為替差損	—	1
貸倒引当金繰入額	—	135
その他	104	59
営業外費用合計	609	244
経常利益	3,760	9,016
特別利益		
固定資産売却益	6	6
投資有価証券償還益	—	98
貸倒引当金戻入額	—	210
段階取得に係る差益	—	89
その他	0	0
特別利益合計	7	404
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
投資有価証券評価損	—	81
貸倒引当金繰入額	131	—
持分変動損失	—	72
その他	—	0
特別損失合計	133	155
税金等調整前中間純利益	3,633	9,264
法人税、住民税及び事業税	794	3,279
法人税等調整額	584	538
法人税等合計	1,378	3,817
中間純利益	2,255	5,447
非支配株主に帰属する中間純利益	4	220
親会社株主に帰属する中間純利益	2,250	5,227

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,255	5,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	2,515
為替換算調整勘定	281	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	2	8
その他の包括利益合計	335	2,437
中間包括利益	2,590	7,885
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,585	7,665
非支配株主に係る中間包括利益	4	220

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,633	9,264
減価償却費	666	919
無形固定資産償却費	796	745
のれん償却額	669	693
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△128
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,713	△610
受取利息及び受取配当金	△12	△35
支払利息	28	47
為替差損益(△は益)	△141	2
持分法による投資損益(△は益)	476	△132
貸倒引当金戻入額	—	△210
貸倒引当金繰入額	131	135
事業譲渡損益(△は益)	—	△181
固定資産除売却損益(△は益)	△4	△4
投資有価証券評価損益(△は益)	—	81
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△98
持分変動損益(△は益)	—	72
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△89
売上債権の増減額(△は増加)	2,472	△489
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△2,397	△48
棚卸資産の増減額(△は増加)	△187	40
前渡金の増減額(△は増加)	△176	△2,735
未払金の増減額(△は減少)	△1,756	△1,372
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,411	△31
契約負債の増減額(△は減少)	1,663	1,715
預り金の増減額(△は減少)	3,061	△236
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,769	1,418
その他	△128	△415
小計	3,897	8,316
利息及び配当金の受取額	12	46
利息の支払額	△28	△46
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,385	224
営業活動によるキャッシュ・フロー	△504	8,541

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,666	△4,010
投資有価証券の償還による収入	—	1,333
投資有価証券の取得による支出	△1,364	△4
貸付けによる支出	△1,800	△4,000
貸付金の回収による収入	1,200	210
差入保証金の差入による支出	△45	△508
差入保証金の回収による収入	6	94
事業譲渡による収入	—	181
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△255
その他	6	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,663	△6,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	404	981
長期借入れによる収入	—	4,700
長期借入金の返済による支出	△290	△268
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△53
自己株式の取得による支出	△7,522	△4,538
配当金の支払額	△4,011	△3,867
その他	△9	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,429	△3,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	337	△94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,259	△1,558
現金及び現金同等物の期首残高	118,703	105,688
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 103,443	※1 104,130

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,810,600株の取得を行いました。また、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2023年7月12日に自己株式135,700株の処分を行い、2023年9月22日の取締役会決議に基づき、2023年9月29日に自己株式4,500,000株の消却を行いました。更に、当中間連結会計期間におけるストックオプションの権利行使による自己株11,900株の処分を行いました。

この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が13,657百万円、自己株式が6,562百万円減少し、当中間連結会計期間末における利益剰余金が162,234百万円、自己株式が10,338百万円となっております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,616,200株の取得を行いました。また、2024年6月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2024年7月17日に自己株式82,500株の処分を行いました。更に、当中間連結会計期間におけるストックオプションの権利行使による自己株式8,200株の処分を行いました。

この結果、当中間連結会計期間において自己株式が4,264百万円増加し、当中間連結会計期間末における自己株式が14,574百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年中間期の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(当社連結子会社の役職員による不適切な資金のやり取りについて)

当社の連結子会社である株式会社チャリ・ロトの役職員(以下、「本件役職員」といいます。)が取引先との間で不適切な資金のやり取りを行っていた疑義が2024年10月下旬に判明いたしました。これを受けて、2024年10月30日に外部の専門家から構成される調査チームを組成して調査を行い、2024年12月26日に調査報告書を受領しております。

調査の結果、本件役職員による不適切な資金のやり取りは、前代表取締役は357百万円、元従業員は668百万円、合計1,026百万円となりました。

なお、当中間期の中間連結財務諸表に与える影響額については、法人税等の増加も含め、親会社株主に帰属する中間純利益△552百万円となりました。

(中間連結損益計算書関係)

※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
広告宣伝費	10,606百万円	8,156百万円
決済手数料	13,602百万円	12,762百万円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	103,664百万円	103,486百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△221百万円	△220百万円
有価証券(MMF)	一百万円	863百万円
現金及び現金同等物	103,443百万円	104,130百万円

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	43,051	15,050	4,550	—	62,652	170	62,822
その他の収益	—	—	—	1,145	1,145	—	1,145
外部顧客への売上高	43,051	15,050	4,550	1,145	63,798	170	63,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,051	15,050	4,550	1,145	63,798	170	63,968
セグメント利益又は損失(△)	13,440	△876	△682	698	12,579	△8,768	3,811
その他の項目							
減価償却費	84	803	128	0	1,016	445	1,462
のれん償却額	—	478	190	—	669	—	669

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,768百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,016百万円及びのれん償却額△669百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上170百万円、全社費用△7,251百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	40,139	18,236	5,455	—	63,831	35	63,867
その他の収益	—	—	—	4,953	4,953	—	4,953
外部顧客への売上高	40,139	18,236	5,455	4,953	68,785	35	68,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	40,139	18,236	5,455	4,953	68,785	35	68,820
セグメント利益又は損失(△)	16,175	718	△513	2,407	18,788	△10,039	8,748
その他の項目							
減価償却費	80	1,022	111	0	1,214	453	1,667
のれん償却額	—	478	215	—	693	—	693

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10,039百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,214百万円及びのれん償却額△693百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上35百万円、全社費用△8,166百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。